

2020 年度事業報告

【1】公益事業の部

1. 一般研究助成

1. 第40回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第40巻を刊行した。
2. 第41回一般研究助成は、応募件数 がん薬物療法部門62課題、医療機器部門10課題を審査し、がん薬物療法部門5課題、医療機器部門1課題を選考した。
3. 第40回研究発表会、第41回一般研究助成贈呈式を開催した。(2020年12月11日)。

令和2年度 第41回一般研究助成金受賞者および研究課題は次のとおり。

【がん薬物療法部門】

応募者氏名	応募者所属施設	研究課題
今井 克憲	熊本大学大学院 消化器外科 助教	両葉多発大腸癌肝転移に対する2期的肝切除における、腫瘍学的特性と免疫学的腫瘍微小環境の変化の検討
北沢 将人	信州大学医学部附属病院 消化器外科 講師	大腸癌におけるKRAS G12C選択阻害剤AMG510の耐性シグナルの解析
富樫 庸介	千葉県がんセンター研究所 部長代理	IFN- γ シグナル異常によるがん免疫療法耐性の本態解明と克服のための新規治療開発
間野 洋平	九州がんセンター 肝胆膵外科 医師	膵癌関連線維芽細胞とサルコペニアとの相互作用の解明と革新的分子標的治療薬の開発
吉見 昭秀	国立がん研究センター研究所 がんRNA研究ユニット 独立ユニット長	IDH阻害剤抵抗性白血病を克服するスプライシング阻害療法の開発

【医療機器部門】

応募者氏名	応募者所属施設	研究課題
豊川 剛二	九州医療センター 呼吸器外科 医師	深層学習による肺癌免疫療法の効果予測AIの開発

2. 臨床研究

JFMC34-0601：ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第II相試験）

1. 最終論文を作成中。

JFMC37-0801（付随研究）：結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査

1. 英文論文を投稿中。

JFMC41-1001-C2（付随研究）：Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. 遺伝子統合解析を実施中。
2. 学会発表を行った。(ESMO-ASIA 2020/10)
3. 英文論文 (GWAS) を投稿中。

JFMC44-1101: 治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討 —観察研究—

1. 最終論文を作成中。

JFMC46-1201: 再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行った。
2. 第8回 定期モニタリングレポートを作成した。
3. 学会発表を行った。(ESMO2020 virtual)
4. 英文論文(3年DFS)を投稿中。
5. 認定IRB (CRB) へ変更申請、定期報告を行った。

JFMC47-1202-C3: Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行った。
2. 第8回 定期モニタリングレポートを作成した。
3. 学会発表を行った。(ASCO2020 virtual, WCGI2020 virtual*, ESMO2020 virtual, 第58回日本癌治療学会 京都, ASCO-GI2021 virtual*, 第18回日本臨床腫瘍学会 virtual*)
※JFMC48統合解析
4. 最終論文を作成中。
5. 認定IRB (CRB) へ変更申請、定期報告を行った。

JFMC47-1202-C3 (付随研究): Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. 遺伝子統合解析を実施中
2. 学会発表を行う。(ESMO-ASIA 2020/10)
3. 英文論文(GWAS)を投稿中。

JFMC48-1301-C4: 再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行った。
2. 第6回 定期モニタリングレポートを作成した。
3. 学会発表を行った。(ASCO2020 virtual, WCGI2020 virtual*, ESMO2020 virtual, 第58回日本癌治療学会 京都, ASCO-GI2021 virtual*, 第18回日本臨床腫瘍学会 virtual*)
※JFMC47統合解析
4. 英文論文を発表した。(Annals of Oncology doi:https://doi.org/10.1016/j.annonc.2020.10.480)
5. 認定IRB (CRB) へ変更申請、定期報告を行った。

JFMC49-1601-C5: 食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討—エレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第III相比較臨床試験 (EPOC2 study)

1. 学会発表を行う。(ESMO2020 virtual, 第58回日本癌治療学会 京都)
2. 英文論文を作成中。
3. 認定IRB (CRB) へ変更申請、終了届書を提出した。

JFMC50-1701-C6: ロンサーフ (TFTD) 使用症例の後ろ向き観察 (コホート) 研究

1. 英文論文を作成中。

JFMC51-1702-C7: 標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対するTFTD (ロンサーフ) +Bevacizumab併用療法のRAS遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第II相試験

1. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行った。
2. 学会発表を行った。
3. 英文論文を発表した。(ESMO open DOI: <https://willap.jp/t?p=AAAJy5Zh6RUdUn4PT8fKMQcxuP0>)
4. 認定IRB (CRB) へ変更申請、定期報告を行った。

2020年度 臨床研究明細一覧は次のとおり。

2021.3.31現在

JFMC	集積期間	追跡期間	登録施設/参加施設	集積数/目標数	現在の状況
34	2006.3-2007.12	~2018.8	30/37(81.1%)	116/110(105.4%)	英文論文作成中
37付随研究	2009.1-2009.12	~2014.12	48/65(73.8%)	171/300(57.0%)	英文論文投稿中
41付随研究	2011.1-2012.12	-	100/128(78.1%)	486/800(60.7%)	最終解析中
44	2011.9-2012.6	~2015.7	157/200(78.5%)	1466/1200(122.1%)	英文論文作成中
46	2012.5-2016.4	~2021.4	321/395(81.0%)	1230/1200(102.5%)	追跡中
47	2012.8-2014.6	~2020.6	244/318(76.7%)	1313/1200(109.4%)	英文論文作成中
47付随研究	2012.8-2014.12	-	159/244(65.2%)	893/1200(74.3%)	最終解析中
48	2014.2-2017.1	~2024.1	102/170(60.0%)	525/500(105.0%)	追跡中
49	2017.1-2019.8	~2019.12	16/23(69.6%)	117/160(73.1%)	英文論文作成中
50	2017.6-2017.11	-	127/142(89.4%)	1770/1200(147.5%)	英文論文作成中
51	2018.1-2018.9	~2020.9	34/71(47.9%)	102/100(102.0%)	英文論文発表

3. データベース事業支援委員会

1. 研究の公募を行った。
2. 応募研究の選考を行った。

4. 臨床研究開発・推進委員会

1. 第5回臨床研究開発・推進委員会 (メール審議) を開催した。
2. 3研究を選考し検討会を開催した。

5. 医療機器委員会

1. 医療機器等の収益事業認定を取得した。(2020.9.11)
2. 第7回医療機器委員会を開催した。(2020.9.28)

6. 講演会及び講習会等事業

日本生活習慣病予防協会と共催で市民公開講座をWEB開催した。

期間: 2021年2月1日~2021年2月28日

会長の山岸久一先生より「休養でがん予防-その免疫学的根拠-」をテーマに講演いただいた。

7. 諸事業

1. 新規臨床試験受託整備 (各種標準手順書等の改定) を行った。
2. がん集学財団ニュース No. 43を刊行した。
3. 当財団ホームページにて諸事業について適宜情報を発信するとともにメールマガジンを発信し、事業報告を適宜1900名以上に配信した。

【2】収益事業の部

1. 医療機器、体外診断用医薬品、再生医療等製品及び福祉機器等に関する試作品評価の受託事業

全般

1. サービスの開始と周知を目的として当財団ホームページを更新した。

乳がん用診断・治療機器に係る調査（仮称）

1. 秘密保持契約書の締結を完了した。

2. 医療機器、体外診断用医薬品、再生医療等製品及び福祉機器等の品質、有効性及び安全性等の情報収集・解析の受託事業

全般

1. サービスの開始と周知を目的として当財団ホームページを更新した。

医療機器 弾性ストッキングの製品評価を目的とした共同調査

1. 共同調査計画書を作成中。